

令和4年度第3回新庄警察署協議会の開催

日 時	令和5年2月7日(火)午後2時45分から午後4時05分までの間
場 所	新庄警察署会議室
出席者	協議会委員：会長以下10名 警察署員：署長以下10名
議 題	雪害等災害対策について

【協議内容等】

委員からの意見等	警察署の回答
<p>雪解け時期、屋根等からの落雪による歩行者や車への被害が予測される。</p>	<p>警察では、継続的に防災出前講座を開催して県民の防災意識の向上を図っています。</p> <p>降雪期には、同講座を通じ、雪害防止の注意喚起も積極的に行っているほか、「やまがた110ネットワーク」での情報発信や月1回読売新聞に折り込まれるチラシ「読売防犯ニュース」を活用した広報をしています。</p> <p>今後も、あらゆる機会を通じて広く注意喚起を行い、事故防止に努めていきます。</p>
<p>除雪作業中、雪に埋まってしまった場合に備え、携帯電話の所持を勧めているが、その他、長靴などに金属探知機等に反応する金属テープなどを貼ると更に早い発見につながるのではないかと。</p>	<p>携帯電話を所持しながらの除雪作業は、早期の救出が被災者の安否に直結しますので、非常に有効な方法であると言えます。</p> <p>金属探知機は、探知できる範囲が非常に限られた範囲であり、雪山からの被災者の救出に使うには、現在の技術ではなかなか難しいようです。</p> <p>警察では、除雪中の事故防止に関して、発生直後の救護活動等が行えるため、「複数での作業」を呼び掛けているところです。</p>
<p>冬期間の排雪時、軒下の外壁沿いの雪が解けて空洞になっているため、軒下に近づき過ぎると足を取られ、脱出できなくなる場合があります、大変危険である。</p>	<p>排雪時の事故防止について、継続的な防災出前講座や「やまがた110ネットワーク」での情報発信等により、広く注意喚起を行っています。軒下排雪時の事故防止についても、併せて広報していきます。</p>
<p>今年の冬、積雪による倒木のため、通行止めとなり、交通に支障があっ</p>	<p>警察で行う、国道等における長時間の全面通行止めが行われるような交通</p>

<p>た地区があった。この状況を早期に把握できる方法はないか。</p>	<p>規制情報は、報道機関や「やまがた110ネットワーク」により提供を行っています。</p> <p>通行止めなどの交通規制は、国土交通省や県・市町村といった道路管理者が実施する場合があります。</p> <p>最新の交通規制情報を日本道路交通情報センターがホームページで公開しており、日中であれば電話での問い合わせも対応していますので、同センターの交通規制情報を確認していただく方法もあります。</p>
<p>歩道の除雪が途中で終わっているため、車道を歩かなくてはならなかったり、消雪道路がうまく排水されず、朝方凍り、転倒の危険性がある場所がある。</p>	<p>天候や道路環境が悪化する冬期間は、除雪や消雪設備等により、道路を良好な状態に保つことが事故防止を図る上で重要なことだと承知しています。</p> <p>警察で危険な状態を把握すれば、その都度、道路管理者に連絡し、改善を図ってもらっています。今後も、危険箇所等お気づきの場合は、御連絡ください。</p>
<p>指定雪捨て場の出入口が狭い上、道路脇の雪で道路幅も狭い。 排雪のためのダンプが道路上から雪捨て場に入ろうとすると、道路幅員が狭く、見通しも悪いため、事故防止対策がとれないか。</p>	<p>市の担当者に、今後の対策を検討するように依頼しています。</p>
<p>ホワイトアウト等による渋滞や立ち往生に遭遇したり、救助を待つ間などに、積雪時の車中泊や仮眠時の「寒さ対策」「一酸化炭素中毒」「エコノミー症候群」などの防止のためには、どのようにすると良いか。</p>	<p>警察では、気象庁の発する気象情報に基づき、やまがた110ネットワーク等を活用した雪害防止や雪道での交通事故防止に関する情報発信を積極的に行っているほか、国土交通省等道路管理者に対する早期の情報提供を行うなどして渋滞及び立ち往生事案の未然防止を図っています。</p> <p>何よりも一番好ましいのは、その様な事態に巻き込まれないことです。外出、特に遠出をする際には、各機関が発信する大雪情報について確認して、大雪が予想される場合は、不要不急の外出を控えていただくことが一番です。</p> <p>なお、万が一、立ち往生などに遭遇した際の対策としては、</p> <p>【寒さ対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スキーウェアや手袋などの防寒衣や保温シート（アルミ断熱シート）の常備 ○ ポータブル電源とセラミックヒーターの活用 <p>【一酸化炭素中毒防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マフラーが雪で覆われないように

	<p>こまめに除雪</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 車内にスコップ等の除雪用具を付けておく <p>【エコノミー症候群防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間に1回を目安に身体を動かし、水分も忘れず補給する ○ 足の指でグーパーを繰り返す、足を上下につま先立ちする、つま先を引き上げる、膝を両手で抱え、足の力を抜いて足首を回す、ふくらはぎを軽くもむ等があげられます。
<p>東北中央道が開通し、所要時間が短縮し便利にはなったが、冬道は事故が多い様に感じる。</p> <p>周りに防風柵がないような所は、風雪になると視界が悪くなり、とても危険である。</p> <p>対策として街路灯を増やすか防雪柵を設置してほしい。</p>	<p>東北中央道では、防雪柵等の設備がない場所があり、地吹雪等が発生しやすく、視界が悪くなることがあります。</p> <p>管轄する国土交通省に対し、現状及び防雪柵の設置要望がある旨を連絡しています。</p>



柔剣道訓練の視察状況



協議会の開催状況

警察署協議会会議結果報告書

新庄警察署

日 時	令和5年2月7日(火)午後2時45分から午後4時05分までの間
場 所	新庄警察署会議室
出席者	協議会委員：会長以下10名 警察署員：署長以下10名
議 題	雪害等災害対策について

【視察】

協議会開催に先立ち、新庄警察署道場において柔剣道の訓練視察

【会長挨拶】

ただ今、協議会に先立って柔剣道の訓練を見せていただき、新鮮な感じで、警察官は体が資本であると感動いたしました。

新聞、テレビ等で、いろいろと強盗事件が報道されますが、新庄・最上でも高齢者だけが住む住宅も多数あると思うので、防犯カメラ等の設置などを推進して、昔とは違った犯罪に対応していただきたい。

【警察署長挨拶】

本日のテーマを「雪害等災害対策」とさせていただきました。

暦のうえでは立春となりましたが、当署管内はまだまだ寒さ厳しい気候ですから、油断せずに事故防止に向けた取組を推進してまいりますので、忌憚のない御意見を賜りますようお願いいたします。

【管内治安情勢】

新庄警察署管内の治安情勢について、生活安全課長、刑事課長、交通課長、警備課長が会議資料に基づいて説明を行った。

【協議内容等】

今年の冬の雪質は湿った雪で、真室川町釜淵地区と大滝地区で倒木が相次ぎ、通行止めになり、交通に支障があった。この状況を早期に把握できるシステムが必要であると思うが、何か良い方法はないか。

県道以上の道路が対象となりますが、倒木を始め、道路における障害の情報は、日本道路交通情報センターが集約し、同センターのホームページで公開したり、日中であれば電話での問い合わせにより対応しています。(電話番号：#8011 携帯専用)

警察としても、報道機関を通じた情報提供やカーナビゲーションシステム搭載車両に対する情報提供、加えて、国道等における長時間の全面通行止めが行われるような場合には、警察が登録をお願いしている「やまがた110ネットワーク」による情報提供を行っています。

通行止めなどの交通規制は、国土交通省や県・市町村といった道路管理者が実施する場合があります。

警察、道路管理者等全ての情報は、日本道路交通情報センターが集約して

	<p>おりますので、同センターで確認していただくのが一番間違いないかと思っております。</p>
<p>歩道の除雪が途中で終わっているため、車道に出て道路を渡らなくてはならず、危険である。 また、消雪道路の水がうまく排水されず、朝方凍る場所があり、転倒の危険性がある。</p>	<p>天候や道路環境が悪化する冬期間は、除雪や消雪設備等により、道路を良好な状態に保つことが事故防止を図る上で重要なことだと承知しています。 警察でも危険な状態を認知すれば、その都度、道路管理者に連絡し、改善を図ってもらっていますが、我々も気づかないこともありますので、危険箇所等お気づきの点があれば、今後も教示していただければ幸いです。</p>
<p>暖気になった時の屋根等からの落雪による、歩行者や車への被害が予測される。</p>	<p>令和4年12月1日から令和5年2月1日までの期間における県内の雪害発生件数は56件で、内7件が屋根からの落雪によるものになり、長井市で1件の死亡事故が発生しています。 また、当署管内の雪害発生件数は11件で、内2件が屋根からの落雪に伴う事故になります。 警察では、継続的に防災出前講座を開催して県民の防災意識の向上を図っており、降雪期には、同講座を通じ雪害防止の注意喚起についても積極的に行っているほか、「やまがた110ネットワーク」での情報発信や月1回読売新聞に折り込まれるチラシ「読売防犯ニュース(約1,350戸配付)」を活用した広報しています。 今後も、あらゆる機会を通じて広く注意喚起を行い、事故防止に努めていきます。</p>
<p>新庄市の指定雪捨て場である新庄市農協仁間倉庫脇の出入口とその付近について、出入口が狭い上、道路脇の雪で道路幅も狭い。 排雪のためのダンプが道路上から雪捨て場に入ろうとすると、道路幅員が悪く、見通しも悪いため、通行車両と事故が起きないように何か対策がとれないか。</p>	<p>新庄市都市整備課から確認したところ、委員から御指摘のあったとおり、排雪場所に至る道路の幅員が狭く、車両同士の相互通行ができないため、どうしても排雪場所から出ようとする車両がいる場合、排雪場所に入ろうとする車両が県道上で一時的に待機しなければならないのは事実だそうです。しかし、排雪の時期は、排雪車両の通行が増大し、排雪場所付近の混雑を避けるのは難しいとのことで、さらに、元々道路幅員が狭いので、出入口を除雪で広げたり、警備員等を配置したりしてもなかなか解決は難しいとのことでした。 ただ、今後は排雪車両同士の情報交換を密にし、市内に複数設けられた排</p>

雪場所の混雑状況を共有して、なるべく混雑が起きないように徹底するほか、やむを得ず、一時的に県道上で停止する場合には、ハザードランプを点灯するなど、これまで以上に安全に配慮して作業を行うので、市民の方からは御理解と御協力をお願いしたいとの回答でした。

ホワイトアウト等による渋滞や立ち往生に遭遇したり、救助を待つ間などに、積雪時の車中泊や仮眠時の「寒さ対策」「一酸化炭素中毒」「エコノミー症候群」などの防止のためには、どのようにすると良いか。

近年、大雪に関する警報や特別警報が発せられるような降雪に伴い、高速道路や主要幹線道路において大規模な車両の渋滞や立ち往生が発生し、長時間の車中待機を余儀なくされる事案が全国的に発生しています。

今シーズンも、令和4年12月18日から新潟県中下越で降り続いた大雪の影響では、国道8号、17号で800台超が立ち往生し、解消まで2日間を要している他、大雪により自宅が停電したため、車中で暖をとっていた方が、一酸化炭素中毒により亡くなる事故も発生しています。

警察では、気象庁の発する気象情報に基づき、やまがた110ネットワーク等を活用した雪害防止や雪道での交通事故防止に関する情報発信を積極的に行っている他、国土交通省等道路管理者に対する早期の情報提供を行うなどして渋滞及び立ち往生事案の未然防止を図っています。

委員から質問のありました積雪時の車中泊や仮眠についてですが、何よりも一番好ましいのは、その様な事態に巻き込まれないことです。外出、特に遠出をする際には、各機関が発信する大雪の情報について確認して、不要不急の外出を控えていただくことが一番です。

なお、万が一、立ち往生などに遭遇した際の対策としては、

【寒さ対策】

- スキーウェアや手袋などの防寒衣や保温シート（アルミ断熱シート）の常備
- ポータブル電源とセラミックヒーターの活用

【一酸化炭素中毒防止】

- マフラーが雪で覆われないようにこまめに除雪
- 車内にスコップ等の除雪用具を付けておく

【エコノミー症候群防止】

- 1時間に1回を目安に身体を動か

	<p>し、水分も忘れず補給する</p> <p>○ 足の指でグーパーを繰り返す、足を上下につま先立ちする、つま先を引き上げる、膝を両手で抱え、足の力を抜いて足首を回す、ふくらはぎを軽くもむ等があげられます。</p>
<p>除雪中、雪に埋まってしまった場合を考え、携帯電話を所持しての作業をすすめているが、その他、長靴などに反射材と同じ様な金属探知機等に反応する金属テープみたいなものを貼ると更に早い発見につながるのではないか。</p>	<p>雪崩とは、山腹に積もった雪が重力の作用によって斜面を崩れ落ちることをいいます。</p> <p>雪崩は、自然の地形上では、急な斜面、低木林やまばらな植生の場所で発生しやすいですが、傾斜のついた屋根等からの落雪についても注意する必要があります。前兆として“雪庇”“吹きだまり”“雪じわ”“ひび”が見られるようになります。</p> <p>県内では、平成17年以降、雪崩により4件の人的事故が発生しており、内2件は、平成20年に真室川町内の治山工事現場で発生した重傷事故、令和4年に戸沢村内の護岸工事現場で発生した死亡事故と当署管内で発生しております。</p> <p>雪崩による人的被害の特徴として、その範囲が広範囲に及ぶことが多く、被災者の捜索においても、時間を要し非常に困難な場合が多いことがあげられます。</p> <p>雪山登山者などについては、電波を発信する機械である「ビーコン」を所持していることが多く、捜索では、ビーコンの発する電波により、位置を特定することが可能となっています。</p> <p>委員から質問のありました除雪中、屋根からの落雪に埋没するケースについてですが、今シーズン当署管内での発生はありません。</p> <p>ただし、このようなケースにおいても早期の救出が被災者の安否に直結しますので、携帯電話を所持しながらの除雪作業は、非常に有効な方法であると言えます。</p> <p>金属探知機による検索は、探知できる範囲は非常に限られた範囲であることから、現在の技術では、なかなか難しいようです。</p> <p>警察では、除雪中の事故防止に関して、発生直後の救護活動等が行えるため、「複数での作業」を呼び掛けているところです。</p>
<p>冬期間の排雪時、軒下の外壁沿いが空洞になっているため、軒下に近づき</p>	<p>住宅など建造物の外壁は屋内の熱や太陽光の影響を受けているため、接し</p>

すぎると膝上までぬかり脱出できなくなる場合があり、大変危険である。

ている部分から雪も溶けやすく、できた空洞に足を取られることが多くなります。

令和5年1月29日には、最上町で軒下に堆積した雪山を除雪していた高齢女性が、外壁との隙間に頭から滑落して身動きが取れなくなった事案が発生しています。

排雪時の事故防止について、継続的な防災出前講座や「やまがた110ネットワーク」での情報発信等により、広く注意喚起を行っていますが、軒下排雪時の事故防止についても、併せて広報していきます。

東北中央道が開通し、所要時間が短縮し便利にはなったが、冬道は事故が多い様に感じる。

周りに防風柵がないような所は、風雪になると視界が悪くなり、とても危険である。

先日私も村山名取ICから新庄方面に車を走らせたが、猛吹雪に遭い夕方ということもあり、前が全然見えなくなり、前の車のテールランプを頼りに走っていたが、速度を下げて走ると、前の車を見失ってしまい、とても怖い思いをした。

対策として街路灯を増やすか防雪柵を設置してほしい。

東北中央道下り線では、舟形ICの流入、流出路付近に一部防雪柵はありますが、その先は防雪柵等の設備がなく、特に農業大付近は、風が強いと、地吹雪等が発生しやすく、視界が悪くなる場合があります。

国土交通省新庄国道維持出張所に対し、現状及び防雪柵の設置要望がある旨を連絡しましたが、橋梁付近等に新たな防雪柵を設置することが構造上困難などの理由で、早急な対応は難しいとのことです。

しかし、今後の対応については他の安全対策も含めて、検討させてもらいたいとの回答でした。



柔剣道訓練の視察状況



協議会の開催状況